

## 生活環境による性格の違いについて

39期生

### I テーマ設定の理由

今まで多くの人々と出会って接し会ってきたが、“全く同じ性格の人”にはまだ出会ったことがない。では、「どこから性格の違いが生まれてくるのかな?」と思い、人口密度が高く、商工業がさかんで文化的設備の整った所を都会、その反対で田畑などが多い所を田舎と考えて、都会で育った子、田舎で育った子では、性格にどのような違いがあるか、アンケートによって調べてみようと思った。

### II 研究方法

- (1) 対象 A兵庫県水上郡(丹波)の中学校……………男子 50人 女子 54人  
 B大阪市内の中学校……………男子 21人 女子 22人  
 C家の近くの中学生(八尾市黒谷)……………男子 35人 女子 30人  
 D附属……………男子 47人 女子 26人

#### (2) 方法

##### ① アンケート調査

1. アンケート作り
2. 項目別、男女別、地域別の比較と分析
3. 項目別、男女別、兄弟姉妹別の比較と分析
4. 項目別、男女別、年齢別の比較と分析
5. 親子では性格の遺伝があるのだろうか

### III 結論

### IV 感想

#### 研究内容

##### ① 1. アンケート作り

性別、年齢、第何子であるか、田舎か都会かによって、どのような性格の違いが出るかがわかるアンケートを作った。又、自分の性格が両親の性格に何らかの影響を受けているのではないかと思い、アンケートに加えた。

“生活環境による性格の違いについて”のアンケートです。

よろしくお願いします。

次のどれかに○をつけて下さい。

年齢……(12, 13, 14, 15)才

性別……(男, 女)

○長男, 次男, 三男, 四男, その他( )

○長女, 次女, 三女, 四女, その他( )

あなたは何人兄弟の何番目ですか。

( )人兄弟の( )番目

1. 相手の立場, 気持ちを考えられる (はい・いいえ)
2. 近所の人達に挨拶ができる (はい・いいえ)
3. 学校での事を家でよく話す (はい・いいえ)
4. 自分の意志を通す方である (はい・いいえ)
5. 友達ができる積極的な性格である (はい・いいえ)
6. 自分の性格はどうだと思いますか  
( )
7. あなたは(都会・田舎)に住んでいる
8. 両親はどんな性格だと思いますか

(例) お父さん 優しい

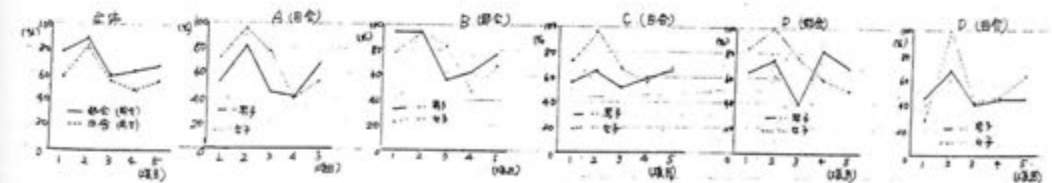
お母さん 口やかましい

お父さん

お母さん

ありがとうございました。

##### ① 2. アンケート項目別、男女別、地域別比較と考察

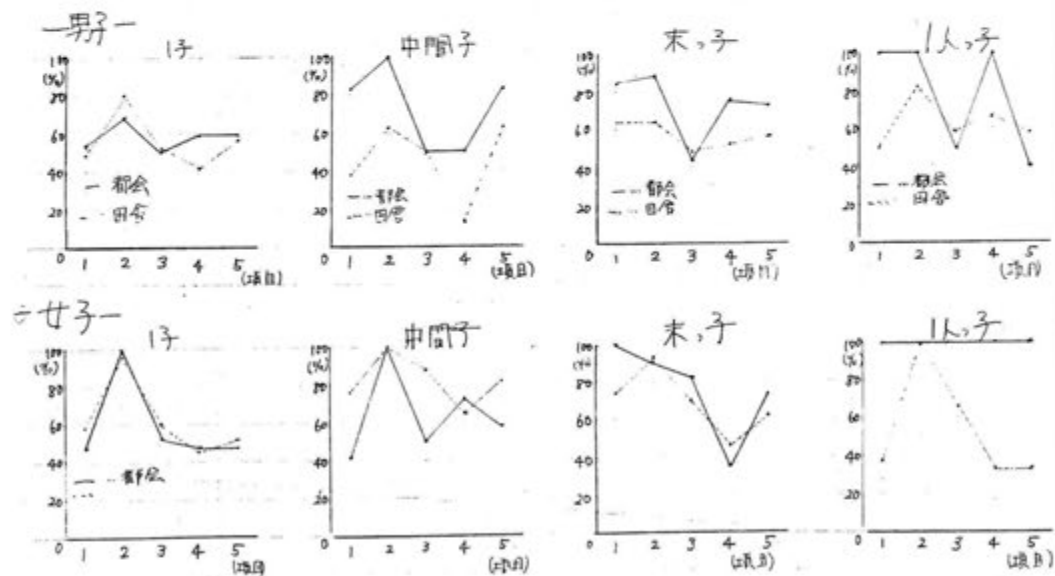


前ページのグラフからの分析

(Aでは100%の人が田舎、Bでは100%の人が都会、Cでは100%の人が田舎、Dでは都会と書いた人と田舎と書いた人がいた)

- 第1項目 男女共に都会の方が田舎よりも「はい」と答えた率が高い。都会では、今いじめや校内暴力の問題について学校内や家庭内で、相手の事を考えさせられる機会が多くなってたからではないかと思う。
- 第2項目 都会の方が高い率で「はい」と答えていた。男女で見ると、女子の方が都会・田舎どちらも多くなっている。都会にあいさつのきちんとできる子が多いのは、地域社会との結びつきを深めたり、あいさつ運動を学校でとり組んだりしているの、その効果が少しずつ表われてきたんじゃないかと思う。
- 第3項目 都会・田舎の区別はあまりないが、女子は都会・田舎ともに家でよく話をするが、男子(特に田舎)は、その割合が低い。これについては問題のよく話すの“よく”の程度が、それぞれ違うのであまり正確な結果が得られなかったと思う。私自身の予想では、田舎の子の方がよく話すんじゃないかな……と思っていたので意外だった。
- 第4・5項目 都会の方が田舎よりも「はい」と答えた率が高く、男女では男子の方が高く積極性があるようだ。めまぐるしい変化がある都会なので積極的な行動をとらなければ時代にとり残されてしまうのではないかと思う。

①3. 項目別、男女別、兄弟姉妹別の比較と分析



前ページのグラフからの分析

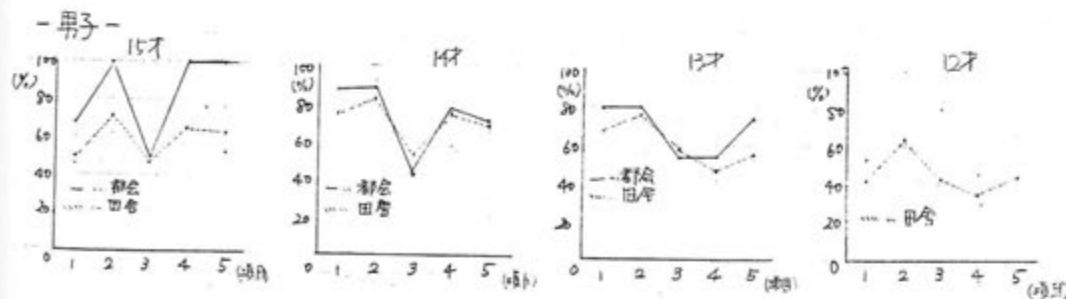
-男子-

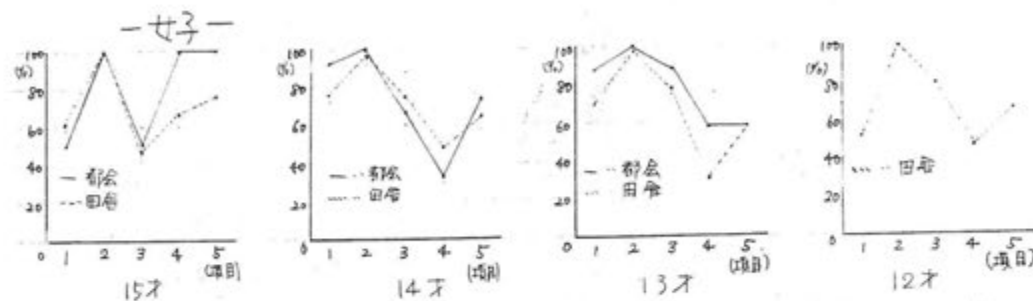
- 第1項目 グラフでは、1人っ子、末っ子、中間子、1子の順で「はい」と答えた人の割合が高くなっている。第何子であっても、都会の方が田舎に比べて「はい」と答えた割合が高くなっている。家庭内での第一子に対する両親の愛情と注目の中で育てられ、常に相手の立場を考えるより、考えられる立場に置かれているからかもしれない。
- 第2項目 兄弟の上下なく、都会の方が田舎よりもよく挨拶をしている。
- 第3項目 1子であるから、末っ子であるからなどの差はほとんどなく、約半数の人が家ではあまり話さない事がわかる。青年期になり、親からの精神的自立の時期であり、干渉されたくないため、都会・田舎、又、第何子であるかにかかわらず「はい」と答えた割合はほぼ同じである。
- 第4・5項目 末っ子、1人っ子が自分の意志を通すことが多いのは、親が子を育てる時に、末っ子に対しては、いつまでもかわいい幼い存在であってほしいという態度から子供もそれを知り、“どうせ許してくれる”と思い、自分の意見を通す面が表われてくるのだと思う。

-女子-

- 第1項目 男子と同様で男子・女子による大きな差はないと思う。
- 第2項目 男子と似ているが、女子の場合は男子よりもっと割合が高い。それは女の子よりも女の子という面でしつけが行きとどいているのではないかと思う。
- 第3項目 男子に比べ割と家でよく話すことがわかる。特に中間子、末っ子、1人っ子はよく話すことがわかる。女子の場合、男子に比べて、おしゃべりな結果だと思う。
- 第4・5項目 全体的に見るとやはり1子に比べて中間子、末っ子、1人っ子の方が自分の意志を通すといえる。理由は男子と同様だと思う。

①4. 項目別、男女別、年齢別の比較と分析





上のグラフからの分析

-男女-

男子は、年齢が高くなっていくにつれてだんだん家で話さなくなり、その一方では、自分の意志を通すようになる事がわかる。田舎と都会では、各年齢別に見ると、グラフの形はほぼ同じである。このグラフで見る限り、性格の違いは環境とあまりかかわりがないように思える。

-男子-

15才までに上の様な変化が、割と急に行われている事から、男子には12才から15才の間は大人への大切な時期だと思う。

-女子-

田舎と都会の差がないだけでなく、12才から15才まで、ほとんどグラフの変化がない事がわかる。

①5. 親子では性格の影響があるのだろうか。

子供から見た親の性格は、優しい、口うるさい、おもしろい、こわい、ふつう、というのが多かった。

子供の性格は、短気、明るい、内気、優しい、ふつう、わがまま、よい、悪いが多かった。

親の性格を大別し、2つに分けると、A:優しい、おもしろい、ふつう、B:こわい、口うるさい、とする。

自分の性格	親の性格A	親の性格B
短気	41%	18%
明るい	48%	16%
内気	65%	25%
優しい	50%	38%

ふつう	47%	13%
わがまま	20%	30%
良い	15%	53%
悪い	45%	55%

前ページの表を見ると、自分の性格と自分から見た親の性格には、あまり関係がない様に思う。今では、祖父母の様な、封建的な親が少なく、友達の様な関係で話し合える。そんな両親から、優しい、面白い、という答が出たと思う。

### III 結論

性格というのは十人十色だと言われている。全体(都会と田舎)のグラフからもわかるように、質問の項目に対して都会の中学生の方が田舎の中学生に比べて「はい」と答えた割合が高くなっている事からも、環境による性格の違いも少なくない。

学校教育が浸透し、反面、塾通いの殺伐とした生活状況に置かれているため、このような結果が出たのだとも思われる。又、妹の転校生によると、「こちらの学校の生徒(八尾市黒谷)はみんなのんびりとしている。」そうだ。やはり環境によってもずいぶん性格に影響を及ぼしている事もあるようだ。

性格の違いというのは、地域による生活環境の違いだけでなく、その年齢特有の性格の違いや、1子、中間子、末っ子、1人っ子であるかの違いによっても異ってくる事がわかった。又、男女それぞれが生まれ持った物もあり、グラフからも男女による性格の違いがはっきり見られる。このアンケートの結果によって、性格の違いというのは、生活環境だけでなく、男女、年齢、第何子であるかも、大きく影響している事がわかった。

### IV 感想

少し、まとまりがなかったように思う。アンケートの内容に吟味が足りなかったため、テーマによる答えが十分でなかった。グラフによっては、二人で100%と表われている所があり、グラフを読むのに苦労した。しかし、保健で学習した思春期の不安定な精神状態をこのアンケートの中で実践できて良かったと思う。

本当に多くの方々に御協力頂いてこの様な自由研究ができたのだと思います。

ありがとうございました。お礼申し上げます。